

平成26年度 京都府立洛東高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階 ・ 実施段階）

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<ul style="list-style-type: none"> ・知の沃野を切り開き、豊かな感性を身に付け、創造力に富む人間の育成に努める。 ・個人の責任と義務を尊重し、道徳性の高い行動力のある人間の育成に努める。 ・自ら学ぶ意欲を喚起し、社会の変化に対応できる能力を育成し、進路希望の実現に努める。 ・勤労とボランティア精神の資質を養い、人権を尊重し、社会の一員としての自覚と行動ができる人間の育成に努める。 ・家庭や地域社会との連携を強化し、21世紀の新生洛東高校として信頼される学校づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみを中心とした生活規律の確立を図る取組を推進し、一定の成果を得た。今年度も基本的な生活習慣の一層の確立を目指して、地域・保護者から信頼が得られる学校づくりが喫緊の課題である。 ・コの字型グループ学習やディベート授業等、授業改善(教育内容と指導方法の充実)の推進に取り組んだ。併せて7限基礎学力補充により、低学力生徒の学力向上に一定の成果を得た。 ・進路補習等の取組を質・量ともに充実させるとともに、個に応じたきめ細かい進路指導により、全生徒の第1希望の進路実現を目指す学校体制構築が必要である。 ・介助を必要とする生徒に対する校内体制、施設面での整備に取り組んだ。特別支援を必要とする生徒に対する校内体制づくりも更に推進する。 ・学校説明会やホームページのタイムリーな更新等、広報活動を継続して展開した。ホームページについては、質・量ともに一層の改善を推進したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみを中心とした基本的な生活習慣を確立するための指導に努める。特に、1年生一学期に、高校生としての心構え、規律ある行動などを徹底して指導し、3年間の基盤をつくる。 ・各教科における授業の工夫・改善に努め、一層の教育力向上を図る。併せて、全ての授業にキャリア教育の視点を織り込み、自己実現への意欲を喚起する。 ・3年間を見据えた学習指導、進路指導の在り方についての継続的な研修と具体的な取組を行い、進路希望の実現に努める。 ・LD、ADHD、高機能自閉症等の生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な教育的支援を行う特別支援教育を推進する。 ・本校の新教育システム初年度にあたり、新教育システムの特長を最大限に活かし、生徒が生き生きとした学校生活を送る学校づくりを推進する。

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織・運営	本校の新教育システムの特長を最大限に生かした学校づくりを行うとともに、効果的な広報活動によって意欲のある受検生徒の募集を図る。また、学校評価等の実施と学校改善のシステム化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会や中学校等教育機関への訪問を行い、本校の新教育システムの特色や魅力を発信する。 ホームページを活用し、本校の教育活動及び生徒の学習活動に関する情報を発信する。 自己評価及び外部評価の結果を活用し、次年度に向けた改善点を明確にする。 		
生徒指導	身だしなみを中心とした基本的な生活習慣を確立するために、全教職員体制で指導を行う。特に、一学期に高校生としての心構えや規律ある行動などを徹底して指導する。	<ul style="list-style-type: none"> 頭髪指導は再登校を含む指導を強化し、全教職員で指導を行う。 高校生活見直そう週間を年間8回実施し、交通ルール、交通マナーを守る意識の高揚を図るため、登下校・駐輪指導を行い、年間を通じて立ち番を行うなど全教職員で指導する。 		
学習活動	各教科における授業の工夫・改善に努め、一層の教育力向上を図る。併せて、全ての授業にキャリア教育の視点を織り込み、自己実現への意欲を喚起する。	<ul style="list-style-type: none"> 「授業規律の確立」に基づく学習指導を徹底する。 教科・学年等と連携し、基礎学力補充や平常補習、夏季補習等の取組について、内容の充実を図る。 キャリア教育の視点を踏まえた年間指導計画を作成し、教科指導において研修や交流を行う。 		
進路指導	3年間を見据えた学習指導、進路指導の在り方についての継続的な研修と具体的な取組を行い、進路希望の実現に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通したガイダンスや進路実現のための的確な進路情報の提供を行い、学習意欲を喚起するとともに、分野別進路学習を実施し、進路に対する意識を高める。 学力実態や進路希望に即した進路補習を充実させると同時に、生徒が自らの力で学習する力を高める指導を行う。 府立高校実力テスト、模擬試験等のデータの分析を行ない、継続的な研修を行うことにより進路指導を進める。 		
特別支援	LD、ADHD、高機能自閉症等の生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な教育的支援を行う特別支援教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> LD、ADHD、高機能自閉症等の理解を深め、生徒一人ひとりに適切で組織的な教育的支援を行う。 スクールカウンセラー制度を活用して課題を抱える生徒の援助を行う。 		